

これからの時代に求められる資質・能力を育むためのカリキュラム・マネジメントの在り方に関する調査研究

佐賀県武雄市の取組



- 人口 48,969人
 - 小学校児童数:2,789人(11校)
 - 中学校生徒数:1,229人(5校)
- (5月1日現在)



1 研究の概要

武雄市の取組

- 2学期制
- 官民一体型学校「武雄花まる学園」
- 土曜等開校日の設定
- 水曜日以外は全て6時間授業（4年以上）



土曜開校日の実施日数の増加だけでは、
新学習指導要領への対応は困難。

武雄市の取組

【H29】

- ① 教育委員会プロジェクトチームの設置
- ② カリキュラム・マネジメントの検討会議（年2回）
- ③ 担当者会議
- ④ GTEC Juniorの実施



【H30】

①～④ 継続

- カリキュラム・マネジメント研修会の開催
 - 実践校の実践報告、情報交換
 - 学識経験者、県教育委員会による指導助言

市内小学校共通の取組

【H30～】

- ① **夏季休業の短縮**（8月最終週、5日間）
給食実施【25～30時間】
- ② **外国語活動**（3，4年）年間**35時間**を固定
時間割で確保
外国語科（5，6年）年間**70時間**を固定
時間割で確保

市内3小学校での実践的な調査研究

どのような組み合わせがより実践的であるか



授業時数確保のための取組	【H29】実施校	【H30】実施校
15分の短時間学習	<ul style="list-style-type: none">・朝日小学校・若木小学校・東川登小学校	<ul style="list-style-type: none">・朝日小学校・東川登小学校
学習時間割の工夫	<ul style="list-style-type: none">・朝日小学校・若木小学校・東川登小学校	<ul style="list-style-type: none">・朝日小学校・若木小学校・東川登小学校
「花まる英語」での取組	<ul style="list-style-type: none">・東川登小学校	<ul style="list-style-type: none">・東川登小学校

2 調査研究の内容

○武雄市立朝日小学校

取組	H30年度 年間確保時間	取組年 度
① 土曜等開校日	【12時間】(4日間)	H16～
② 朝の時間の15分間を活用	【13時間】	H29～
③ 委員会活動等の枠の見直し	【20時間】	H29～
④ 外国語活動・外国語科 の時間を固定	3, 4年:35時間 5, 6年:70時間	H30～
⑤ 夏季休業の短縮(5日間)	【28時間】	H30～

○武雄市立朝日小学校

【H30】見直しした取組

取組	H29	H30	変更理由
① 土曜等 開校日	【18時間】 (6日間)	【12時間】 (4日間)	夏季休業の 短縮のため。
② 朝の時間 の15分間 を活用 「60分継続で」	外国語活動、 外国語科の実 施。	技能教科中心に。 【13時間】	外国語活動 では、児童 の興味や意 欲の継続が 難しい。
③ 委員会活 動等の枠	委員会活動等 のない週は授 業日に。	① 委員会活動、代 表委員会を課外に。 ② クラブ活動は 残す。 【20時間】	授業時数確 保のため。

○武雄市立若木小学校

取組	H30年度 年間確保時間	取組年度
① 土曜等開校日	【12時間】(4日間)	H16～
② 60分授業の設定	なし	H29
③ 委員会活動等の枠の見直し	【17時間】	H29～
④ 外国語活動・外国語科 の時間を固定	3, 4年:35時間 5, 6年:70時間	H30～
⑤ 夏季休業の短縮(5日間)	【28時間】	H30～

○武雄市立若木小学校

【H30】見直しした取組

取組	H29	H30	変更理由
① 土曜等 開校日	【18時間】 (6日間)	【12時間】 (4日間)	夏季休業の短縮
② 60分授業 の設定	外国語活動、 外国語科の実 施	なし	児童の興味や 意欲の継続が 難しい。
③ 委員会活動 等の枠の見 直し	なし	委員会活動、 代表委員会 のない週は授 業日に 【17時間】	授業時数確保 のため

○武雄市立東川登小学校

取組	年間確保時間	取組年度
① 土曜等開校日(5日間)	【15時間】	H16～
② 朝の時間「花まる英語」でのモジュール学習	【17時間】	H29～
③ 夏季休業前日	【2時間】5時間授業に	H30～
④ 外国語活動・外国語科の時間を固定	3, 4年:35時間 5, 6年:70時間	H30～
⑤ 夏季休業の短縮(5日間)	1～3年【25時間】 4～6年【30時間】	H30～

○武雄市立東川登小学校

【H30】見直しした取組

取組	H29	H30	変更理由
② モジュール学習 (花まる英語)	12分×4回 1時間とする ・5年生【10時間】 ・6年生【11時間】	12分×4回 1時間とする 【17時間】	H29は、年度途中から取り組んだため。
③ 夏季休業前日	1～3年 【5時間】 4～6年 【6時間】	全学年 5時間授業に	① 高学年担任の負担軽減ため ② 授業時数が確保できる見通しがついたため
⑤ 夏季休業の短縮	なし	1～3年【25時間】 4～6年【30時間】	授業時数確保のため。

花まる英語(朝の時間)

東川登小学校

- ・「We can ! 」をもとに独自で作成した教材
(H29は「Hi! Friends」)
- ・4技能(聞く、読む、話す、書く)を取り入れた内容

ボキャブラリー

- ・単語の練習

フォニックス

- ・アルファベットの音の練習

チャンツ

- ・短文の練習

ライティング

- ・アルファベットや短文を書く

H30は、コミュニケーションなし

「花まる英語」児童(3～6年)アンケートより 東川登小学校

H29

H30

・英語が前よりわかるようになった。

77%→81%

・アルファベットが書けるようになった。

23%→58%

・アルファベットが読めるようになった。

40%→65%

・英語で言えるようになった。

40%→45%

・英語の単語が書けるようになった

23%→29%

【H30】 3小学校の取組

学校名	花まる英語	クラブ活動枠の活用	朝の時間からの60分授業	土曜等開校日
朝日小学校		クラブ活動以外の時間を補充授業に。 年間20時間	技能教科を中心に 年間13時間	3時間×4日間 年間12時間
若木小学校		クラブ委員会活動代表委員会以外の時間を補充授業に。 年間17時間		3時間×4日間 年間12時間
東川登小学校	・モジュール 12分×4回 を1単位時間。 年間17時間			3時間×5日間 年間15時間

市内3校のGTEC Juniorの結果(4技能)を測定

技能	H29→H30(6年生)
読む	11.4スコア ↑
聞く	5.7スコア ↑
書く	8.0スコア ↑
話す	8.0スコア ↑
トータル	33.1スコア ↑

全てで、伸びが見られた

市内3校のGTEC Juniorの結果(アンケート)

項目	【H29】 5年生	【H30】 5年生	【H29】 6年生	【H30】 6年生
英語の授業や活動の時間は楽しいですか。	約59% (楽しい、まあ楽しい)	約90% (楽しい、まあ楽しい)	約42% (楽しい、まあ楽しい)	約85% (楽しい、まあ楽しい)
	31% ↑		43% ↑	
英語は好きですか。	約30% (好き、まあ好き)	約70% (好き、まあ好き)	約21% (好き、まあ好き)	約70% (好き、まあ好き)
	40% ↑		49% ↑	

カリキュラム・マネジメント検討会議での指導助言

① 授業時間確保だけが、カリキュラム・マネジメントではない。学びの質を高める時間確保を



【R元】武雄市教育研究会（外国語活動部会を作る）

② 学校、地域、児童の実態に合ったものを。



教務主任会で市内3校の取り組みを情報共有。
学校毎に実態に合った方法を。

4 成果と課題（武雄市）

（子どもの視点から）

- 外国語活動と外国語科を固定時間割でしたことで児童がリズムをつかみ易くなった。
- 60分授業を技能教科中心に変更したことで、児童の意欲が持続しやすくなった。
- 「GTEC Junior」の結果が昨年度より伸びた。

(教職員の負担の視点, 校務運営の視点から)

- 校内での外国語活動と外国語科研修を行うことで、指導への不安を軽減できた。
- 夏季休業短縮の実施で、授業時数が確保でき、毎週28時間で進められた。
- 固定時間割で行うことで、時数の管理がしやすくなった。
- 60分授業日は、1日が慌ただしかった。教育的効果がある活動の回数削減をどの程度行うのか検討の余地あり。

(地域との関係の視点から)

- 「花まる英語」に地域の方が支援。
年間延べ約1000人の方が支援に。
- 学校参加はいろいろな面でしていただいているが、
外国語活動・外国語科に人材や地域素材がほしい。

(設置者(教育委員会など)の視点から)

- 夏季休業を短縮し、授業時数の確保ができた。
- 「花まる英語」をモジュールで行うことが良い結果につながった。市内での実践校を増やしたい。
- 組織的な質の向上と学校毎に実態に合った方法を探るため
教務主任会で市内3校の取り組みを情報共有。